

千葉県随一の産地からも高い評価!

WN-ZM701 トウモロコシ

【千葉県山武市の地域概況】

山武市は、千葉県の東部に位置し、2006年3月27日に山武町、成東町、松尾町、蓮沼村の4町村が合併し誕生しました。当地でのトウモロコシ栽培の歴史は古く、現在では県内随一のトウモロコシ産地となっています。睦岡地区ではすでに中早生種の「あまいんです」(85日タイプ)が導入されていますが、早生種の「WN-ZM701」(83日タイプ)も他の産地より一足早く導入され、作付けは今年で3年目を迎えています。



4月26日蒔き 露地マルチ栽培 (7月16日撮影)

粒列がきれいな
「WN-ZM701」

生産者の声

今年の4月は気温が低い日が続いたけれど、低温条件下においても発芽と初期生育の揃いが非常に良かった。果実は粒列がとてもきれいでボリュームがあった。糖度も高く、甘みがあり、食べ応えがあった。

茎が太く、倒伏に強い



5月1日蒔き 露地栽培 (7月16日撮影)

先端までしっかり
実が詰まる

生産者の声

副房や腋芽が少なく、他品種と比較して倒伏に強い。また、着果位置が収穫しやすい高さに揃っているため収穫作業性が抜群に良い。果実は先端まで実がぎっしり詰まっており、収穫適期の判断がしやすい品種。ボリュームがあり、甘みがあり食味にも優れている。

収穫しやすい位置に
着果位置が揃う